

## 夏休みは子どものチャンス!

船引小学校長 安生昌弘

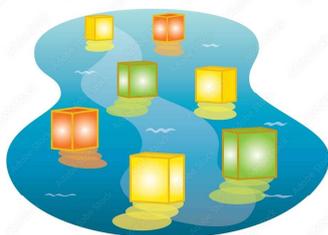
今日は夏休み前の授業が終わる、締めくくりの日ですね。4月の入学式、始業式から何日、学校の日があったでしょうか。実は73日間なのです。毎日の45分間の授業に加えて、学校行事や体験活動をしてきましたね。1年生を迎える会、交通教室、避難訓練、学年ごとの見学学習や校外学習、修学旅行、宿泊学習などもありましたね。振り返ると、73日間の積み重ねってすごい事ですよ。

さて、明日から33日間の長い夏休みが始まります。1か月以上もあるので、やる気のある人が何かを積み重ねると、夏休みには、きっとすごい事ができるような気がしますよね。夏休みは、子どもにとって『チャンス』なのです。

まず第一には、学校の授業はお休みですから、新しい学習が進められるという事はありません。よく身に付いていない学習をやり直したり、学習した事を確かめたりすれば、休み明けの学習をすらすら出来るようになります。つまり、学習がちょっと皆より遅れたなど感じている人は追い付く「チャンス」です。

第二には、長い夏休みにしか出来ない学習に取り組む事が出来ます。長い時間をかけて生き物とか草花をじっくり観察する事や理科の自由研究に挑戦する事、普段よりも長い作文に取り組む事、いつもより厚い本を読む事や読書感想文に挑戦する事などです。つまり、普段「やらされているなあ」と感じている学習に対して自分から挑戦して見返してやる「チャンス」です。

第三には、家族のためになる家庭の仕事を、学校がある日よりも多くする事ができます。そうすると、家族に喜んでもらう事ができ、家庭を幸せにする役割を果たす事ができます。つまり、お手伝いではなく家庭の仕事の一つを任せてもらう「家事の分担」をするのです。学級で配る『夏休みのすごし方』というプリントにも「お手伝いをしましょう」ではなくて、「家の仕事をしましょう」となっているはず。食器の片づけでもお風呂掃除でも良いので心を込めてやりましょう。仕事の事を英語で Job と言いますが、家の人に Good Job(いい仕事してますねえ)と言われるかも知れません。つまり、家族に認めてもらえる「チャンス」です。夏休みには、他にも多くの『チャンス』があるかも知れません。



今年は船引町の大滝根川で3年ぶりに灯籠流しが行われるそうです。私は小学校6年生の夏休みに友達3人で、子ども1人が乗れる位の大型灯籠を作って参加しました。夏休み1か月間、毎日大工さんになったように木の板を切ったり釘を打ったりして何とか作り上げました。灯籠流しの夜にたくさんの方が見ている中で、川に入って灯籠を流したことが今でも忘れられません。夏休みの『やり遂げたなあ』という思い出は、大人になった今でも辛いことがあった時、私の心を応援してくれているように感じます。何かをやり遂げたという気持ちは「自分はやれば出来るんだ」と、長くその人を支えてくれるものなのです。

さあ、明日からの夏休み、チャンスを生かすかどうかは自分次第です。3つのチャンス「学習」「挑戦」「家庭の仕事(Job)」を是非活かして下さい。そして、何か一つでも良いですから『やり遂げて』最高の夏休みにして下さい。